

金田裕子 (かねだゆうこ)

(資格) **かんごし**

(好きな事) **温泉 おんせん**

(ひと言) **笑顔でござればよかよ!!**



金田英一 (かねだえいいち)

株式会社エーワンテクニカ **社長**

(得意な事)

- ・テニス (上級・大会優勝経験あり・ジョコビッチより強し)
- ・空手 (黒帯)

(一言) ... 一期一会

どんなに忙しくてもどんなに辛い時でも、私に会いに来てくれた方と少しでもいいので、楽しくお話し、そして感謝を伝える。



「せんせい、このお話を聞いて...」
「はあ、え、おもしろいよ!!」

たにふじつばさ

(資格) **保育士・介護福祉士**

(好きなこと・とくぎ) **ギター! 歌! スポーツ!**

(一言) **みんなが、みんないい! 大事なことをもう一度いいます! みんなが、みんないい!!**



最近中年ぶりきみで運動しよう。

(持っている資格) **精神保健福祉士**

(好きな事) **本を読む事**

(一言) **多様性を尊重しよう!**

しょうだ **あきひさ**



持っている資格

- ♥ 児童支援発達管理責任者
- ♥ 社会福祉主事任用
- ♥ ホームヘルパー2級

好きなこと

- ♥ キックボクシングをする
- ♥ テニスをやる
- ♥ 旅行に行く

ソレイでたのしく過ごしましょう♡♡♡

小河原 林里
お かみ ち り ま り



ソレイユ全フロアに施している「菌をよせつけない」

「レアコーティング」は当社開発です！

新型コロナウイルスの試験で90%近くの

ウイルス削減効果を確認できました！

効果は1年以上持続します！！

【様式 1110F06】 21KR0902-06-1106

株式会社 株式会社 株式会社

製品名 株式会社 エアークロニクス 株式会社
品名 プレート LEA (レア) コーティング (加工品1点、未加工品1点) 2点
試験項目 抗菌性試験
2021年9月30日
一般社団法人 日本建築部品品質技術協会
神戸試験センター 制作

【試験概要】
ISO11702
Measurement of antiviral activity on plastics and other non-porous surfaces

【試験概要】
試験ウイルス: Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2)
NID 分離株: JPN/TYWK-521 (国立感染症研究所より分与)
宿主細胞: VeroE6/TMP2102 (大阪府立大)
細胞培養液: Dulbecco's modified Eagle's medium (DMEM) (SIGMA, Cat#D6046)
Minimum Essential Medium: EMEM (SIGMA, Cat#M4650)
ウシ胎児血清: Fetal Bovine Serum (FBS) (NICHIREI, Cat#174012)

【試験方法】
1. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂
2. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂
3. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂
4. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂
5. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂
6. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂
7. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂
8. 検査フィルム: 非イオン交換樹脂

【試験結果】
1. 本試験
2. 1. で得られたウイルス懸濁液を減菌ろ過水を用いて 10 倍希釈し、1-10⁶ PFU/mL に調整したものを試験ウイルス懸濁液とする。
3. 減菌シャーレの底に加工品を上にして、各検体 (60mm×90mm) を置き、試験ウイルス懸濁液を 0.4 mL 接種する。
4. 検査フィルム (60mm×90mm) をかぶせ、試験ウイルス懸濁液がフィルム全面に広がるまで十分に置く。
5. シャーレの蓋をかぶせる。
6. 25℃で 24 時間、90%RH 以上の条件下で培養後、各試験検体に洗い出し液 10 mL を加える。
7. 各試験検体より検査フィルムの表面を擦り、ウイルスを洗い出す。
8. プラーク測定法にてウイルス感染数を測定する。

2) 宿主細胞培養試験:
2-1-1 細胞毒性確認試験
1. 各試験検体に洗い出し液 10 mL を加え、本試験と同様に洗い出し操作を行う。
2. プラーク測定法と同様に細胞を染色し、細胞生存の有無を確認する。
2-1-2 ノンウイルスへの細胞の感受性確認試験
1. 各試験検体に洗い出し液 10 mL を加え、本試験と同様に洗い出し操作を行う。
2. 上記の洗い出し液 5 mL を減菌培養液に添える。
3. EMEM を用いて試験ウイルス懸濁液を 4~6×10⁶ PFU/mL に調整し、その懸濁液 0.1 mL を、上記の洗い出し液に加え。
4. 25℃で 30 分静置する。
5. プラーク測定法にてウイルス感染数を測定し、洗い出し液 1 mL 当たりのウイルス感染数を測定し、ウイルスへの細胞の感受性を確認する。



【様式 1110F06】 21KR0902-06-1106

【試験概要】
1. 本試験
2. 1. で得られたウイルス懸濁液を減菌ろ過水を用いて 10 倍希釈し、1-10⁶ PFU/mL に調整したものを試験ウイルス懸濁液とする。
3. 減菌シャーレの底に加工品を上にして、各検体 (60mm×90mm) を置き、試験ウイルス懸濁液を 0.4 mL 接種する。
4. 検査フィルム (60mm×90mm) をかぶせ、試験ウイルス懸濁液がフィルム全面に広がるまで十分に置く。
5. シャーレの蓋をかぶせる。
6. 25℃で 24 時間、90%RH 以上の条件下で培養後、各試験検体に洗い出し液 10 mL を加える。
7. 各試験検体より検査フィルムの表面を擦り、ウイルスを洗い出す。
8. プラーク測定法にてウイルス感染数を測定する。

2) 宿主細胞培養試験:
2-1-1 細胞毒性確認試験
1. 各試験検体に洗い出し液 10 mL を加え、本試験と同様に洗い出し操作を行う。
2. プラーク測定法と同様に細胞を染色し、細胞生存の有無を確認する。
2-1-2 ノンウイルスへの細胞の感受性確認試験
1. 各試験検体に洗い出し液 10 mL を加え、本試験と同様に洗い出し操作を行う。
2. 上記の洗い出し液 5 mL を減菌培養液に添える。
3. EMEM を用いて試験ウイルス懸濁液を 4~6×10⁶ PFU/mL に調整し、その懸濁液 0.1 mL を、上記の洗い出し液に加え。
4. 25℃で 30 分静置する。
5. プラーク測定法にてウイルス感染数を測定し、洗い出し液 1 mL 当たりのウイルス感染数を測定し、ウイルスへの細胞の感受性を確認する。

【試験結果】
リアルタイム RT-PCR 測定結果 (Fig.1) より、ウイルス RNA の増幅が確認された。

検体	21-1	21-2
プレート	検出	検出
レア (レア) コーティング (未加工品) (A)	検出	検出
レア (レア) コーティング (加工品) (B)	検出	検出
プレート	検出	検出
レア (レア) コーティング (未加工品) (C)	検出	検出
レア (レア) コーティング (加工品) (D)	検出	検出

Fig.1. ウイルス懸濁液のリアルタイム RT-PCR 測定結果
グラフ: 検出 (ウイルス懸濁液濃度を FBS にて 10⁶ PFU/ml)
グラフ: 検出 (ウイルス懸濁液濃度を FBS にて 10⁶ PFU/ml)

